

2024年9月30日

2024年度 第2四半期累計事業概況

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田康二）の、2024年度第2四半期（2024年1月～6月）累計事業概況をお知らせいたします。

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215

<https://www.tobuoptours.co.jp/>
TOBU TOP TOURS CO.,LTD.

第 2 四 半 期 累 計 事 業 概 況

(2024 年 1 月 1 日 から
2024 年 6 月 30 日 まで)

2024 年の世界経済の成長率は、サービス価格の上昇が物価上昇率低下の進展を妨げているほか、貿易摩擦の過熱や政策の不確実性からインフレ上振れリスクが増大しており、金融政策の正常化を複雑にしているものの、2024 年 4 月の「世界経済見通し (WEO)」によれば、3.2%になると見込まれています。(IMF「世界経済見通し (WEO)」より)

日本経済においては、2024 年 4~6 月期の実質 GDP 成長率が前期比+0.8%増 (年率換算+3.1%) と、2 四半期ぶりのプラス成長となりました。(内閣府 2024 年 4~6 月期の国内総生産 (GDP、1 次速報値))。内需が 5 四半期ぶりにプラスに転じており、景気は緩やかに持ち直しつつあると判断できます。個人消費を取り巻く環境は、春闘の高い賃上げ率、夏のボーナス支給額の増加、定額減税の実施などから、可処分所得が増加するなど良好な状態にあるものの、物価高への懸念、株安、南海トラフ地震への警戒感、異常気象の影響等によって支出が抑制されるリスクがあり、今後伸びが大幅に鈍化する可能性が懸念されます。

旅行業界においては、国内旅行は、円安の影響により旅行先を海外から国内シフトする傾向から、国内旅行者数は増加傾向に推移しているものの、物価高による実質所得の低下やホテル代の高騰などによって旅行需要の停滞傾向が見られるなど、懸念材料も併存している状況です。一方、インバウンド需要の伸びにより、外国人の日本国内における消費額は観光関連産業も含め大きく増加し、6 月までの累計で約 3.9 兆円となり、年度累計では 8 兆円も視野に入る状況となっています。

海外旅行者数は、1~6 月の累計で前年同月比 32.3%増の 579 万 7 千人 (JNTO 2024 年出国日本人数) となりました。2021 年からの直近 3 年と比較すると海外旅行者数は増加しているものの、世界の物価上昇の加速化、円安、燃油サーチャージの上昇、ウクライナ情勢をはじめとする不安定な国際情勢も影響して回復は緩やかで、コロナ禍前への回復に向けては足踏み状態が続いています。

訪日旅行者数は、6 月は 313 万 5 千人 人となり、前年同月比では 51.2%増、2019 年同月比では 8.9%増で単月としては過去最高を記録しました。また、上半期の累計においても、1,777 万 7 千人 (JNTO 訪日外客数 (2024 年 6 月推計値)) となり、過去最高を記録した 2019 年同期を 100 万人以上上回る状況で推移しています。円安や訪日中国人客数の回復等がインバウンド需要の増加を牽引し、順調な伸びを見せています。

こうしたなか当社は、主要事業分野である旅行事業とともに、地域の課題を解決するソーシャルイノベーション事業や地域活性化事業に昨年に引き続き積極的に取り組んでおります。また、旅行業をはじめとして幅広

く事業展開を進めているポストコロナの状況を踏まえ、コンプライアンス経営の推進を目的に、2024年1月より、営業活動に関する法令遵守状況をモニタリングする「業務統制推進担当」を営業統括本部内に、さらに新造船の就航など急速な回復が見られるクルーズ事業に対応するべく国内旅行部内に新たに「クルーズ推進担当」を設置することで、営業体制の強化と顧客価値の最大化を推進しています。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業収益 503 億 62 百万円（前期比 152 億 52 百万円減）、営業利益 12 億 74 百万円（前期比 65 億 50 百万円減）、経常利益 13 億 96 百万円（前期比 65 億 96 百万円減）、当期純利益 9 億 94 百万円（前期比 45 億 70 百万円減）となりました。

団体旅行では、営業収益 382 億 19 百万円（前期比 86 億 59 百万円増）となりました。会議・イベントの実施など企業活動が活発となり、教育旅行も堅調に推移したことから、営業収益が増加しました。

個人旅行では、営業収益 27 億 62 百万円（前期比 76 百万円減）となりました。物価高による実質所得の低下やホテル代の高騰などによって旅行需要が停滞し、営業収益が減少しました。

ソーシャルイノベーション事業では、営業収益 89 億 98 百万円（前年比 237 億 35 百万円減）となりました。社会課題解決に向け、デジタル技術を活用したソリューション型提案を国や自治体等から受託し運営する当事業では、給付金・商品券事業や誘客・観光振興事業をはじめ各地域の抱える課題解決に向けた様々な事業に積極的に取り組みましたが、感染症対策事業の縮減を受け、営業収益が減少しました。

国内・海外・訪日旅行の商品別概況は以下のとおりです。

国内旅行の当第2四半期累計期間実績は、営業収益 307 億 80 百万円（前年比 35 億 2 百万円増）となりました。円安の影響により海外旅行から国内旅行へシフトする傾向や企業活動の活発化や各種会議・イベント等の実施、教育旅行の復調により、前期実績を上回りました。

海外旅行の当第2四半期累計期間実績は、営業収益 82 億 42 百万円（前年比 38 億 65 百万円増）となりました。コロナ禍の終息により団体旅行、個人旅行ともに海外渡航が復活しつつあり前期実績を上回ったものの、歴史的円安を背景にコロナ禍前の半分程度の回復にとどまっている状況です。

訪日旅行の当第2四半期累計期間実績は、営業収益 22 億 25 百万円（前年比 11 億 43 百万円増）となりました。円安がインバウンド需要の追い風となり、前期実績を上回りました。

第2四半期累計期間における事業の状況は以上のとおりです。

※営業収益については企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

貸借対照表

(2024年6月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	45,952 百万円	流 動 負 債	28,008 百万円
現金及び預金	3,550	未払金	4,493
預け金	28,113	未精算旅行券	3,505
顧客未収入金	9,190	未払法人税等	1,038
未収手数料	47	未払消費税等	107
短期貸付金	1	未払費用	1,642
旅行前払金	4,551	預り金	924
前払費用	261	前受金	10,322
その他の流動資産	239	旅行前受金	5,846
貸倒引当金	△ 3	リース債務	27
		その他の流動負債	99
固 定 資 産	4,019	固 定 負 債	2,189
有 形 固 定 資 産	466	退職給付引当金	2,066
建物	268	リース債務	58
器具備品	96	その他固定負債	64
土地	16		
リース資産	84		
		負 債 合 計	30,197
無 形 固 定 資 産	1,021		
ソフトウェア	337	純 資 産 の 部	
ソフトウェア仮勘定	681	株 主 資 本	19,707
その他の無形固定資産	2	資 本 金	3,000
投資その他の資産	2,531	資 本 剰 余 金	1,200
投資有価証券	169	資本準備金	750
関係会社株式	566	その他資本剰余金	450
長期貸付金	12	利 益 剰 余 金	15,507
破産・更生債権等	78	その他利益剰余金	15,507
長期前払費用	1	繰越利益剰余金	15,507
差入保証金・敷金	961		
繰延税金資産	673	その他有価証券評価差額金	66
その他の投資等	184		
貸倒引当金	△ 115	純 資 産 合 計	19,774
資 産 合 計	49,971	負 債 及 び 純 資 産 合 計	49,971

※百万円未満については切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(2024年 1月 1日から
2024年 6月30日まで)

科 目	金 額	百 万 円	百 万 円
営 業 収 益			50,362
営 業 費			47,596
営 業 総 利 益			2,765
一 般 管 理 費			1,491
営 業 利 益			1,274
営 業 外 収 益			
受取利息および配当金	38		
為替差益	73		
貸倒引当金戻入額	1		
その他の収益	15		128
営 業 外 費 用			
支払利息	0		
その他の費用	4		5
経 常 利 益			1,396
特 別 損 失			
固定資産除却損	0		0
税引前当期純利益			1,396
法人税、住民税および事業税	905		
法人税等調整額	△ 504		401
当 期 純 利 益			994

※百万円未満については切り捨てて表示しております。

2024年度 第2四半期累計 営業収益

【セグメント別】

(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期累計	2023年度 第2四半期累計	前期比
営業収益	50,362	65,614	▲ 15,252
団体旅行	38,219	29,560	8,659
個人旅行	2,762	2,838	▲ 76
ソーシャルイノベーション事業	8,998	32,733	▲ 23,735
その他	381	481	▲ 100

【商品別】

(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期累計	2023年度 第2四半期累計	前期比
営業収益	50,362	65,614	▲ 15,252
国内旅行	30,780	27,278	3,502
海外旅行	8,242	4,377	3,865
訪日旅行	2,225	1,082	1,143
その他	9,114	32,875	▲ 23,761

(参 考)

2024年度 第2四半期累計 取扱高

【セグメント別】

(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期累計	2023年度 第2四半期累計	前期比
取 扱 高	58,269	73,958	▲ 15,689
団体旅行	38,219	29,560	8,659
個人旅行	10,152	10,627	▲ 475
ソーシャルイノベーション事業	8,998	32,733	▲ 23,735
その他	898	1,036	▲ 138

【商品別】

(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期累計	2023年度 第2四半期累計	前期比
取 扱 高	58,269	73,958	▲ 15,689
国内旅行	35,133	31,710	3,423
海外旅行	11,117	7,309	3,808
訪日旅行	2,401	1,507	894
その他	9,616	33,430	▲ 23,814